

# 能登町における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)

## 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

少子高齢化が進行する中、既存のバス路線を見直すとともに、合併後の各地区における公共交通ネットワークの再編を図る。また、基幹路線と中山間地域における支線との連絡をスムーズにすることにより、効率的で、持続可能な公共交通ネットワークシステムの構築を図る。

## 能登町地域公共交通協議会

北鉄奥能登バス(株)、石川県タクシー協会、地元交通事業者、学識経験者、能登町町会連合会、能登町商工会、能登町観光協会、能登警察署、道路管理者、石川運輸支局、石川県、能登町

## 総合連携計画策定調査実施計画の概要

### 1) 調査の内容等

#### ① 現況整理

- ・バス現況の整理(現行サービス水準の整理)
- ・地域特性の把握(人口特性、生活施設分布、運行経費等)

#### ② 利用状況の把握

- ・便別、バス停別の乗降客数調査
- ・調査データの分析による利用状況の把握

#### ③ 利用者ヒアリングの実施

- ・バス利用者ヒアリングによる利用者ニーズの把握

#### ④ 住民アンケートの実施

- ・住民アンケートによる潜在ニーズの把握

#### ⑤ 先進地事例の調査

#### ⑥ 公共交通連携計画の方針の検討

- ・課題の整理
- ・基本方針の検討

#### ⑦ 実施事業に係る導入可能性検討

- ・事業案の設定
- ・事業シミュレーション

#### ・導入スケジュールの検討

#### ⑧ 公共交通連携計画の検討

- ・計画区域の設定
- ・計画の目標設定
- ・事業及び事業主体の明確化
- ・事業期間

#### ⑨ 計画の周知・PR

- ・チラシ配布、インターネットなど

## 協議会の様子

